

引っ越し奉行 参上！

飄

々

広報委員

岸本 千種

正月にふさわしい時代劇を紹介したい。「引っ越し大名！」である。

姫路藩主の松平直矩は豊後日田への「国替え」を命じられる。国替えとは、藩まるごと家族も総出の移動で、参勤交代よりも大規模だ。「たとえ大名の領土であっても究極的には幕府の所有物である」という考えに基づき、さまざまな理由で実施された。松平直矩は生涯に7回も国替えをさせられ、「引っ越し大名」というあだ名をつけられた。

大出費の費用調達に加えて、人や物を片付け移動させる手間や段取りもすさまじい。度重なる国替えによる借金の結果、藩の存亡が危ぶまれるほどの財政難に陥っていた。加えて、この度は15万石から7万石への減封のため、人減らしまで必要となった。この難局を乗り切れるかどうかは、引っ越しプロジェクトの総責任者「引っ越し奉行」にかかっている。

ところが、前任のベテラン引っ越し奉行は激務の末、亡くなっていた。国替えのやり方もわからないし、申し送りもない。誰がやっても失敗しそうな恐ろしい役目は上司たちも引き受けたくない、何とか逃れたい。

で、この映画の主人公は、引っ越し奉行を押し付けられた若侍の片桐春之介である。

たくましさも凛々しさも全くゼロで武術もまるで駄目なのに、納得できないと先に進めない性格。対人関係も苦手で、上司たちも扱いに困り、書庫番として蔵書整理の仕事をさせていた。本人もこれ幸いと書庫に引きこもって本ばかり読んでおり、片桐をもじって蝸牛^{かたつむり}というあだ名をつけられていた。

春之介も何とか逃げようとするが、切腹しろと迫られ、引っ越し奉行をやるしかなくなる。

やらなければならない仕事は山積みで、カネ・ヒト・モノについて解決を迫られる。ひどい無責任上司も登場する。ドラマ「半沢直樹」の江戸時代版である。

けれども、未熟ながらも誠実に仕事を進めていくうちに、次第に協力者が増えていく。「誠意を尽くせばきっと応えてくれる者がいる」と春之介も思えるようになる。

膨大な知識に加えて、埋もれていた高い処理能力と、まるで一休さんのような発想力とで、春之介は次々と問題を解決していくのである。結果、仕事でもプライベートでも充実した生活を手に入れてハッピーエンドとなる。映画全体に明るさと軽みがあり、人の情けもしっかりと描かれている。お子様と一緒に観ても楽しめる。

亡くなった前任者の娘の於蘭^{おらん}は、父の苦勞と無念を忘れることはなかったが、父から伝え聞いた引っ越しの手引を介して主人公を助ける。実務能力に長けており、精神面でも春之介を支え続ける。いちばん厳しい場面は、人員削減の場面であった。石高が減るので人も減らさないといけない。そこで、武田家の軍学書「甲陽軍艦雜記」から学んだ帰農という手段をとる。「時期が来て石高が増えれば元の職種に戻す」という約束のもとに、農業に就いて姫路に残ってもらうことにする。「生きて良い機を待つように」と一人ひとり説得する。豊後へ移動した後もこまめに連絡を取って、見捨てていないことを行動で示し、後年約束を実現す

るのである。

もう一つ、映画のセリフで印象的なのが「体を保て、最後まで」だ。目的達成のためには、体調管理が必須である。

映画を観てから、原作の『引越し大名三千里』（著者：土橋章宏）を読んだ。原作本の方が詳しいというだけでなく、艶っぽく大人向けであった。

藩の自立を守るため経済力をつけ、情報収集と分析を重視して、不利な状況を未然に防ぐ動きをしていることがわかった。

引越し奉行だけでなく、江戸留守居役の重要性と苦勞も詳しく書かれていた。江戸での外交や調整の責任者が江戸留守居役である。江戸と姫路を行き来して、細かい作業の打ち合わせをするだけでなく、江戸での情報収集もぬかりなく続ける。引越し奉行の片桐春之介と江戸留守居役の仲田小兵衛の信頼と協力が、国替え成功のための両輪であった。同じ藩内同士だけでなく、後釜で姫路城に入る福島藩主の本多家江戸留守居役との信頼関係や仲間意識にも触れている。

殿様の松平直矩も、映画では目立たないが、幕府との関係調整や資金集め、決め事の決断と、忙

しく働いていた。

国の一大事ほど、埋もれている才能を掘り起こして、育てることが必要である。新しい難問に立ち向かうために必要な才能を持っているのに、空気が読めないとか気が利かないとか、対人関係の技術が稚拙なために埋もれさせているのは、もったいない。足りないところは他の誰かが補える場合も多々ある。

原作の文庫本だけでなくコミック版も出版された。主人公の春之介と於蘭が少年と少女のように若々しく爽やかに描かれている。

県下唯一の医書出版協会特約店

医学書専門 井上書店
看護学書

〒755-8566 宇都市南小串2丁目3-1(山口大学医学部横)

TEL 0836(34)3424 FAX 0836(34)3090

[ホームページアドレス] <http://www.mm-inoue.co.jp/mb>.

新刊の試覧・山銀の自動振替をご利用下さい。

山口県ドクターバンク

医師に関する求人の申込を受理します。なお、医師以外に、看護師、放射線技師、栄養士、医療技術者、理学療法士、作業療法士も取り扱います。最新情報は当会HPにてご確認願います。

問い合わせ先：山口県医師会医師等無料職業紹介所

〒753-0814 山口市吉敷下東3-1-1 山口県医師会内ドクターバンク事務局

TEL：083-922-2510 FAX：083-922-2527 E-mail：info@yamaguchi.med.or.jp

多くの先生方にご加入頂いております！

お申し込みは
随時
受付中です

医師賠償責任保険

所得補償保険

団体長期障害所得補償保険

傷害保険

詳しい内容は、下記お問合せ先にご照会ください

取扱代理店 山福株式会社
TEL 083-922-2551
引受保険会社 損害保険ジャパン
日本興亜株式会社
山口支店法人支社
TEL 083-924-3005



損保ジャパン日本興亜